

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	152 生活排水対策事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
		目	03	環境対策費
基本施策	19 自然と共生する、住みよいまちをつくる	細目	254	環境保全対策事業
		細々目	52	生活排水対策事業
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード	100200		担当者氏名
	名称	人権生活環境部環境政策課		
			山下 豊	連絡先
				20 - 9105 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市民	※対象件数
成果(どうする)	久米川の環境保全活動に取り組むことで自然を守り共生していき意識が高まる	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	1.久米川流域生活排水対策推進協議会の活動支援(事務局) 2.久米川クリーンウォーク 3.久米川流域水質調査 ※大戸川浄化実験施設は、木津川河川改修により22年度廃止予定	
社会情勢の変化等	久米川流域生活排水対策推進協議会は、平成5年に設立されて以来、久米川における水質は環境保全啓発や美化活動により改善されているものの抜本的な排水処理施設整備が急務である	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
クリーンウォーキングと街頭啓発の実施	回	千円	目標	2	目標	2
			実績	2	実績	2
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
久米川芝床橋地点の水質(BOD)調査数値		平成5年度策定された上野市生活排水推進計画の目標(水質)であるため	mg/l	目標	3mg/l	目標	3mg/l
				実績	3.7	実績	4.0
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	642	642		617		300		
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	642	642						
一般財源	0	0		617		300		
事業投入人件費(B)	0.3人	2,160	0.3人	2,160	0.2人	1,440	0.2人	
フルコスト(A)+(B)	2,802	2,802		2,057		1,740		

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・充進する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 久米川流域が国土生活排水対策重点地域に指定されている。これを受け周辺地域の市民が一丸となって生活排水対策の啓蒙啓発に取り組んでいる。本市としても排水処理対策として施策を推進する必要がある。	○
達成度	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
効果性	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	久米川流域生活排水対策推進協議会の活動により市民に環境保全意識が高まって入るが、本市における抜本的な排水処理施設整備が急務である
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 ・久米川クリーンウォーク ・該当啓発及び啓発看板設置 ・久米川流域水質調査

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	山下 豊
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 当協議会での活動内容また、本市としての協議会への支援については計画どおり維持できているが啓蒙啓蒙だけでは抜本的な解決には繋がらない。行政としての横断的な施策が今後の課題である。
現時点における課題、その他	久米川流域の生活排水処理施設整備並びに浄化槽の普及
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	生活排水処理施設整備等が整うまで流域周辺住民への良好な生活排水浄化のための徹底した啓蒙指導を行う